

# 点 検 調 書

## (記入例)

点検調書(砂防堰堤)

砂防設備台帳記載の設備  
番号を記載します

(1/3)

- 1.不透過型  
2.透過型  
3.鋼製透過型  
4.部分透過型  
5.不透過+流木止  
のいずれかを記載  
する。

水系名:		太田川		幹川名:		〇〇川		平成 年 月 日		
〇〇川		所 管 名		広島県		設備備考		1		
鋼製透過型		西部建設事務所								
〇〇市安佐南区沼田町堤ヶ迫		流域面積		0.54 km2		土石流危険渓流		(内)外		
諸元		堤高(m)		堤長(m)		着工～竣工年度		H12 年度～ H12 年度		
主堰堤		13.5		56.0		堤体材料		コンクリート 鋼製 粗石・石積・その他( )		
副堰堤		—		—		点検者		砂防A, 砂防B, 砂防C		
(垂直壁)		—		—						
点検										
損傷等が無い場合は、写真を撮る必要は無いが、参考のために定点撮影で確認しづらい箇所は写真撮影しておくとい。										
対象物		項目		損傷等		評価		写真番号		
本 堤	堤体	劣化、はく離	有・無	B C E	新 拡大 旧			目視 ボール		
		亀裂(クラック)	有・無	B (C) E	新 (拡大) 旧	幅2cm程度のクラックが横方向に2m有り(前回調査時はB評価)		目視 ボール	1	
		漏水	有・無	(B) C E	新 拡大 旧	亀裂は無いが打継目より漏水有り		目視 ボール	2-1, 2-2	
		変位、変形	有・無	新 拡大 旧			目視 ボール			
		石積	有・無	新 拡大 旧			目視 ボール			
		水通し	磨耗、破損	有・無	B C E	新 拡大 旧			目視 ボール	
	天端	鋼製部凹み変形	有・無	(B) C E	新 拡大 (旧)	以前の調査で発見された凹みを点検した		目視 ボール	3	
		流木等による支障	有・無	(新) 拡大 旧	鋼製部分に厚さ1m程度の流木が溜まっている		目視 (ボール)	4		
		磨耗、破損	有・無	B C E	新 拡大 旧			目視 ボール		
		磨耗、破損	有・無	B C E	新 拡大 旧			目視 ボール		
		基礎地盤	風化、洗掘	有・無	B C E	新 拡大 旧			目視 ボール	
		漏水(取付部地盤含む)	有・無	B C E	新 拡大 旧			目視 ボール		
	地山取付部	崩壊、地すべり	有・無	新 拡大 旧			目視 ボール			
		水叩き	磨耗、破損	有・無	(B) C E	新 拡大 (旧)	表層部に厚さ2,3cmのすり減り有り(前回調査時と変化なし)		目視 ボール	5
	側壁護岸工	本体	劣化、はく離	有・無	B C E	新 拡大 旧			目視 ボール	
亀裂(クラック)			有・無	B C E	新 拡大 旧			目視 ボール		
背面土砂の沈下、流出		有・無	(新) 拡大 旧	護岸背後に深さ1mの陥没箇所有り		目視 (ボール)	6			

複数枚撮影した場合は、枝番をつける。

損傷の状況・程度がわかるように記載する。  
前回調査結果があれば比較を記載する。

新: 今回新に発見されたもの。  
拡大: 前回調査と比較して拡大したもの。  
旧: 前回調査時からあり、変化のないもの。

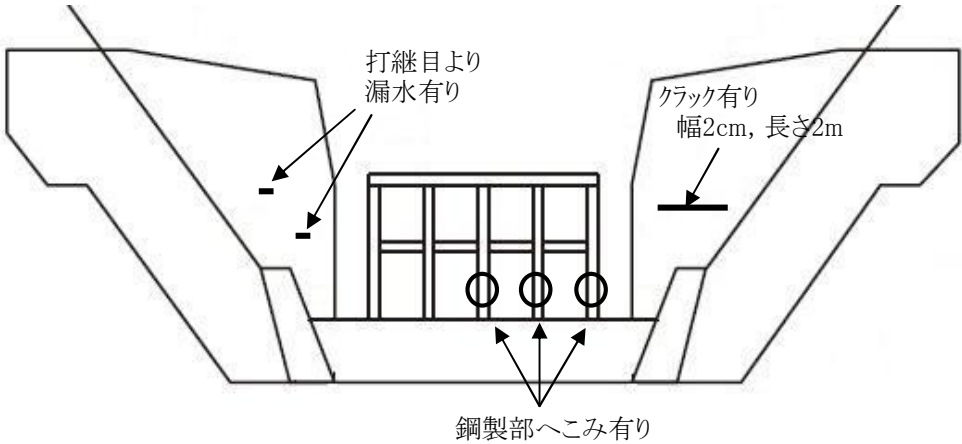
水系名:		太田川		幹川名:		〇〇川		平成23年10月20日			
溪流名	〇〇川			所管名	広島県 西部建設事務所			設備備考	1		
堰堤形式	鋼製透過型										
点検項目											
対象物	項目	損傷等	評価		内容(状況, 程度, 変化度合い)			測定方法	写真番号		
副堤 (垂直壁)	劣化, はく離	有・無	B	C	E				目視	ボール	
			新	拡大	旧				目視	その他( )	
	亀裂(クラック)	有・無	B	C	E				目視	ボール	
			新	拡大	旧				目視	その他( )	
	漏水	有・無	B	C	E				目視	ボール	
			新	拡大	旧				目視	その他( )	
	変位, 変形	有・無	新	拡大	旧	転倒・滑動・沈下			目視	ボール	
									目視	その他( )	
	石積	有・無	新	拡大	旧	張り石欠落, 合端, 樹木侵入			目視	ボール	
									目視	その他( )	
	水通し	磨耗, 破損	有・無	B	C	E				目視	ボール
				新	拡大	旧				目視	その他( )
鋼製部凹み変形		有・無	B	C	E				目視	ボール	
			新	拡大	旧				目視	その他( )	
天端	流木等による支障	有・無	新	拡大	旧				目視	ボール	
									目視	その他( )	
袖部	磨耗, 破損	有・無	B	C	E				目視	ボール	
			新	拡大	旧				目視	その他( )	
基礎地盤	磨耗, 破損	有・無	B	C	E				目視	ボール	
			新	拡大	旧				目視	その他( )	
	風化, 洗掘	有・無	B	C	E				目視	ボール	
		新	拡大	旧	目視				その他( )		
地山取付部	漏水(取付部 地盤含む)	有・無	B	C	E				目視	ボール	
			新	拡大	旧				目視	その他( )	
堆砂敷	崩壊, 地すべり	有・無	新	拡大	旧				目視	ボール	
									目視	その他( )	
	崩壊, 地すべり	(有)・無	(新)	拡大	旧	堆砂敷内に地山崩落箇所有り 構造物には影響なし			(目視)	ボール	
									(目視)	その他( )	
	溪岸侵食	有・無	新	拡大	旧				(目視)	ボール	
									目視	その他( )	
	堆砂位	(有)・無	満砂・(中間堆砂)	(水通し下 8m)				目視	(その他)		
湛水の状況	有・無	満水・中間湛水	(水通し下 m)				(目視)	その他			
植物状況	(有)・無	(草)・雑木(低木・高木)・竹				(目視)	その他				
土石流発生痕跡	有・無	新・旧	流出危険度(大・中・小)				(目視)	その他			
上流域	崩壊, 地すべり	有・無	新	拡大	旧				(目視)	ボール	
					目視				その他( )		
その他 ( )		有・無				その他, 点検調書項目以外の異常があれば記載する。			目視	ボール	
									目視	その他( )	
付属物 ( )	作動状況	良好				取水施設など付属物があれば確認し, 記載する。			目視		
		不良							指触		

水系名: 太田川		幹川名: 〇〇川		平成23年10月20日		
溪流名	〇〇川	所管名	広島県 西部建設事務所	設備備考	1	
堰堤形式	鋼製透過型					
点検項目						
対象物	項目	損傷等	評価	内容(状況, 程度, 変化度合い)	測定方法	写真番号
付 属 物 その他	銘板等	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	状態	銘板に破損有り	<input checked="" type="radio"/> 目視 ポール 巻尺 その他( )	10
	用地杭	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	状態	破損箇所有り	<input checked="" type="radio"/> 目視 ポール 巻尺 その他( )	11
	魚の成育状況	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	魚類名		<input checked="" type="radio"/> 目視 ポール 巻尺 その他( )	
	水面・水中の汚濁	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	状態		<input checked="" type="radio"/> 目視 ポール 巻尺 その他( )	
	ゴミ等の堆積	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	状態	堆砂敷内に不法投棄有り	<input checked="" type="radio"/> 目視 ポール 巻尺 その他( )	12
	管理・工事用道路	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	要伐採・要除草 ひび割れ・陥没		目視 ポール 巻尺 その他( )	
	その他					
次回点検の参考とするため、以下の情報についても記載する。		不良・一部不良の場合、その理由を記載する。				
点 検 情 報	現場へのアクセス	<input checked="" type="radio"/> 良好・不良・一部不良				
	アクセスに必要な器材	脚立・梯子・ロープ・安全帯・ <input checked="" type="radio"/> カメラ・ノコギリ・その他( )				
	車で到達可能な場所から堰堤までの時間	約( 10 )分				
	点検に要した時間	約( 30 )分				

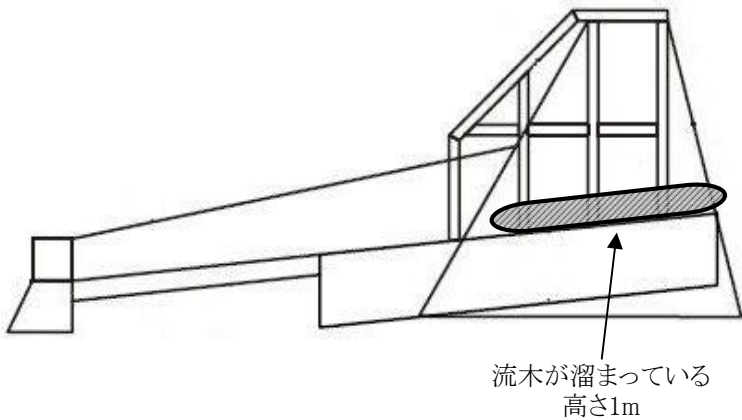
水 系 名	太田川	幹 川 名	〇〇川	溪 流 名	〇〇川	設 備 番 号	1	平成 23年 10月 20日
-------	-----	-------	-----	-------	-----	---------	---	----------------

変 状 等 状 況 図

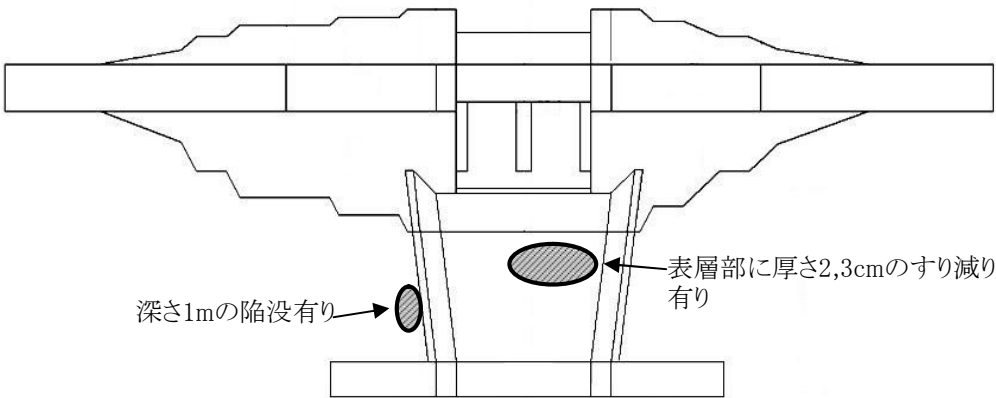
【正面図】



【側面図】



【平面図】



【その他】

※必要に応じて変状の位置及びコメントを記入すること

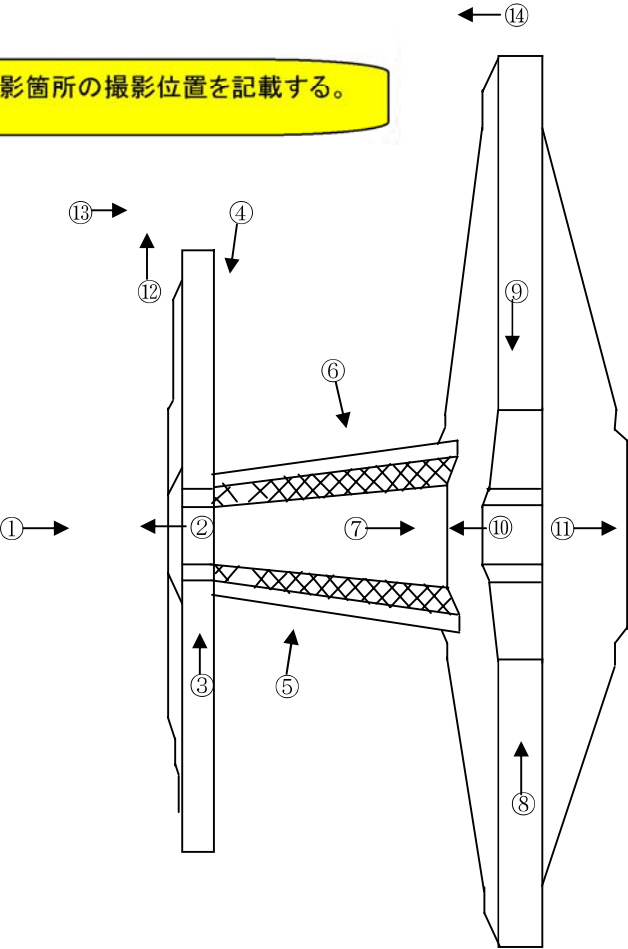
様式-2-3-1

点検調書(写真撮影位置図)

水 系 名	幹 川 名	溪 流 名	設 備 番 号	平成 年 月 日
-------	-------	-------	---------	----------

ル ー ト 図 , 写 真 撮 影 位 置 図

損傷の確認された箇所＋定点撮影箇所の撮影位置を記載する。



※写真の撮影位置は「○→」で示すこと



水 系 名	太田川	幹 川 名	行森川	溪 流 名	北山口川	設 備 番 号	4	平成23年10月28日
-------	-----	-------	-----	-------	------	---------	---	-------------

ル ー ト 図 , 写 真 撮 影 位 置 図

写真番号	1
------	---



写真番号	2
------	---



写真番号	3
------	---



写真番号	4
------	---



写真番号	5
------	---



写真番号	6
------	---





水 系 名	太田川	幹 川 名	行森川	溪 流 名	北山口川	設 備 番 号	4	平成23年10月28日
-------	-----	-------	-----	-------	------	---------	---	-------------

ル ー ト 図 , 写 真 撮 影 位 置 図

写真番号 7



写真番号 8



写真番号 9



写真番号 10



写真番号 11



写真番号 12

